

アフリカの道を直す

雇用創出にも貢献

土を袋詰めにした「土のう」を活用し、開発途上国の道路整備に取り組む(特活)道普請人。地元の住民と共に進める安価なその手法は、日本の外務省や国際労働機関(ILO)、国際協力機構(JICA)などからも高い注目を集めており、同団体がプロジェクトを実施した国はすでに25カ国に上る。ここでは特にアフリカにおける主な活動を紹介する。

<アフリカ14カ国における活動実績>

ブルキナファソ



雨期の道路を改善

ブルキナファソでは、日本の外務省が実施する「NGO連携無償資金協力事業」の一環で2014年に事業がスタート。現在は、南西部にある5つの村で、さまざまな民族の住民が協力し合い、道路整備が進められている。昨年度に工事を行った地域では、雨期の道路状況が劇的に改善されており、今後の土のう工法による道直しの取り組みに大きな期待が寄せられている。

ソマリア



帰還民に仕事を提供

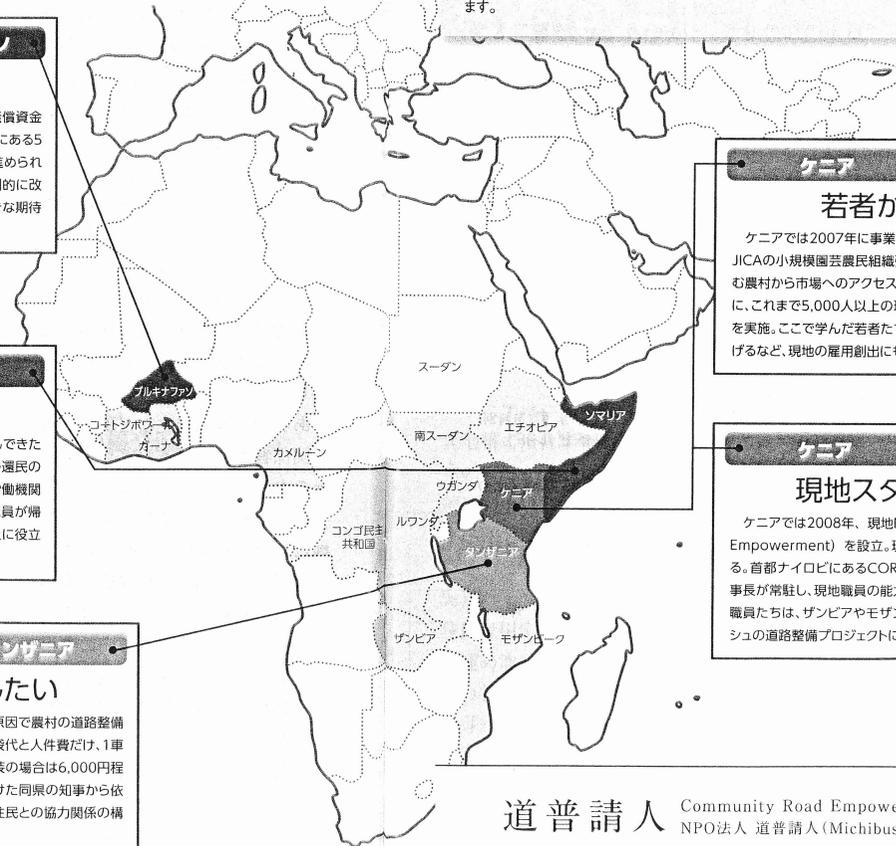
1991～2011年に無政府状態に陥り、内戦や干ばつに苦しんできたソマリア。同国では近年、特に国内外の避難先から戻ってきた帰還民のための雇用創出が喫緊の課題となっている。これを受け、国際労働機関(ILO)の要請に基づいて、CORE(右ページ参照)のケニア人職員が帰還民を対象に道路整備の研修を実施しており、彼らの生計向上に役立つことが期待されている。

タンザニア



道路を安く整備したい

タンザニア南部のネワラ県では、財源不足が原因で農村の道路整備が停滞していた。こうした中、必要経費は土のう袋代と人件費だけ、1車線1mあたり200～800円程度(コンクリート舗装の場合は6,000円程度)で整備できる土のう工法の有効性を聞き付けた同県の知事から依頼があり、今年4月から農道の整備が始まった。住民との協力関係の構築など、多くの課題に挑戦中だ。



Staff's Voice

地道な取り組みを

常務理事 福林 良典氏



道普請人は2007年に設立され、さまざまな個人・企業の方々に支援をいただきながら、開発途上国で道路整備に取り組んできました。道路がきちんと舗装されていないアフリカの農村では、大雨などによって道に大きな穴が開き、車が通れなくなる事態が頻発しています。こうした道を、土を詰めて固めた土のう袋で固めることで、雨風にも負けない強じんな道路を作ることができます。そして、しっかりした道路ができれば、村人は農産物を市場に運んだり、病院などに行くことができるようになり、収入の拡大や生活の向上につながります。ただ、道直しには地道な取り組みが必要です。道普請人は、今後もアフリカの道路を改善するため、息の長い活動を続けていきたいと思えます。

現地の活性化を支援

事業管理責任者(アジア・アフリカ地域) 酒井 樹里氏



青年海外協力隊としてウガンダで農村開発に取り組んでいた時、土のう工法を知ったことがきっかけで、道普請人で働くことになりました。現在、アフリカではブルキナファソとタンザニアの事業に関わっています。アフリカでの事業は、一筋縄ではいきません。例えばタンザニアでは、コミュニティの結束力が弱い村が多く、住民会議を何度も開く必要があります。また、特に資金の支払いなどで不正が発生しないよう、資金を厳格に管理する必要があります。こうした中、事業を円滑に進めるためには、相手とコミュニケーションを取り常に現場の状況を把握することが重要です。こうした困難を乗り越えて道路が改善され、村の生活が確実に豊かになっていく様子を見ると、大きなやりがいを感じます。今後とも、道直しを通じて現地の生活向上を支援していきたいと思えます。

若者が起業家に

ケニアでは2007年に事業を開始。都市のスラムを通る道路の整備、JICAの小規模園芸農民組織強化計画プロジェクト(SHEP)の一環で進む農村から市場へのアクセス改善など、その活動は多岐にわたる。さらに、これまで5,000人以上の現地の若者に対して道路整備の技術研修を実施。ここで学んだ若者たちが、その後、自ら道路整備会社を立ち上げるなど、現地の雇用創出にも貢献している。



現地スタッフが活躍

ケニアでは2008年、現地NGO「CORE」(Community Road Empowerment)を設立。現在、10人のケニア人職員を雇用している。首都ナイロビにあるCOREの事務所には、道普請人の喜田清副理事長が常駐し、現地職員の能力向上にあたっている。ここで鍛えられた職員たちは、ザンビアやモザンビーク、ソマリア、ルワンダ、パングラデシュの道路整備プロジェクトにも派遣されている。



道普請人 Community Road Empowerment
NPO法人 道普請人(Michibushinbito) <http://coreroad.org/>

